（大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可）
昭和九年十一月二日
新京日日新聞
（金曜日）
第四千二百三十二號
（一）

新京日日新聞
夕刊
十一月一日（木）
本紙 一部五錢 一ヶ月一圓
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

在滿機構問題 茲に大團圓

三局長辭表撤回 外一名の犧牲なし

二ケ月半に亘る一大紛糾も圓滿解決して朗か

（旅順國通至急報）菱刈長官の來連に依つて三局長以下關東廳全職員は辭表を撤回した、斯くて機構問題に絡まる紛糾は茲に大團圓を告げた卅一日午后九時三局長は菱刈大將と會見、自發的に辭表撤回を申出でこゝに二ケ月半に亘つた機構問題の紛糾も關東廳に一人の犧牲者も出さずして圓滿解決を見た

三局長に對する「菱刈長官の訓示」

【旅順國通】菱刈長官より三局長に對する訓示內容左の如し

今回各位が大乘的見地より達觀の結果辭意を飜へし辭表を撤回致されたるは本官の寔に欣快とする所である

惟ふに各位に對しては本官の厚き期待あるのみならず內外の重望と多數廳員の信望とは此機に當つて愈々顯著のものがあると確信する故に益々自愛を加へられ且つ洩れ無く新機關に參加し

上下一致文武協和の實を擧げ以て非常時局に際會せる我が帝國の進運に貢獻せらるるやう希望する又此旨は各位の部下にも夫々御傳達せられたくと存ずる

雨降つて地固まる

二ケ月半振りで官邸朗か

【旅順國通】卅一日午後八時半三局長辭表撤回と共にこゝにさしもの紛糾せる機構問題も圓滿解決し、長官々邸にも二ケ月半振りで朗かな空氣が漲り長官を中心に參謀副長、大場局長以下が乾杯を擧げて固き握手を交して肩を叩き合ひ涙ぐましき感激のシーンを展開し、折柄の秋雨に旅順の秋色一際さえ交々雨降つて地固まるのだと語り白玉山下の長官々邸は夜の更くるまで朗かな空氣が滿ち溢れてゐた

新機構投合に着手

【旅順國通至急報】三十一日夜辭表を撤回せる關東廳では愈々一日より本格的に新機構投合の準備に着手する事となつた

明朗將軍 軍隊病院等檢閱

【旅順國通至急報】圓滿解決で愈々明朗將軍に返つた菱刈將軍は一日重砲兵大隊を、二日は衞戍病院の檢閱を行ふこととなつた

關東廳當局談

【旅順國通】關東廳員は機構問題決定と共に總辭職の擧に出たが、大場、日下、中村三局長は一切の責任を自ら負擔したので廳員を慰留せしめんと非常な努力を拂つたが一同固く一蓮托生を誓つて動かず遂に局長が率先辭表を撤回して以て部下を挽留むるの外無き事明瞭となつたので、卅一日夜菱刈長官が旅順の官邸に到着と共に長官に面會し自發的に辭表を撤回すべきを申出で、長官より別項の如き訓示を受けた旨關東廳幹部及び所屬の各官署に傳ふるや、各方面共一齊に大轉回を決行し、辭表は盡く撤回せられ茲にさしもの大問題も圓滿解決朗かに解決を告げた

右に關し關東廳當局に語る

十月十七日閣議決定を見るや廳員中辭表を提出するもの多く現在に於ては行政關係職員の全部に及ばんとしてゐる、幹部に於ては廳員がよく隱忍自重其の豐富なる智識經驗を持參して新機構に參加することはやがて關東廳行政の傳統的精神を保持する所以でもあり、又我等の主張たる文治行政を實現する上に於ても絕對に必要なりとして極力慰留に努めたが廳員はあく迄全員一致して進退を共にすべきを主張し到底慰留に應ずる色もないので愼重熟議の結果大局的見地より此際廳員一同辭意を飜へし上司より辭表下げ渡しを請ひ今後一層任務に精勵して奉公すると共に文治行政の確立に邁進する事に決した、我等廳員は終始懇篤なる態度を以て臨まれたる長官閣下の御心勞と在滿各位の御同情ある御配慮に對し茲に謝意を表するものである

新京署全員を集合 高山署長訓示

昨朝七時三局長以下全員の辭表撤回の旨旅順より新京署に入電あつたので高山署長は新京署講堂に新京、領事館兩署全員を集め、その旨を報告し此際輕擧妄動する事なき樣訓示したる後左の如く語る

我々の今度の問題は出發點が國家的見地から來たのであるから、最後も矢張り國家的大局から見て最もよい方法を取らねばならないと思ひます、或少數の辭表を受理して他の多數を撤回したのではなく、全員の辭表を撤回したのであるから當然進んで新機構に投ずべきだと思ひます

二日奉天で 管下署長會議

三局長以下全廳員の辭表撤回に決定したので二日午前十時から奉天署で全關東廳署長會議を開催し大塚警務局長から辭表撤回の經過報告並に今後の事務打合せを行ふことになつたので高山新京署長は一日午後四時新京發列車で出張した

大藏查定の 各省の查定額內容

【東京國通】去る廿七日より開始された大藏省豫算省議は五日間に亘り漸く歲入歲出豫算の大綱に亘つて查定を終了した、今日までの省議に於ける各省查定額を見れば左の如くである（單位千圓）

省	新規要求額	查定額
△外務省	四九、四五〇	六、〇〇〇
△內務省（以下右の順序による）	一八一、六〇〇	三五、〇九〇
△大藏省	一三二、七一一	九五、〇〇一
△陸軍省	二四六、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
△海軍省	三〇〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇
△司法省	五、〇〇〇	一、五〇〇
△文部省	二九、七〇〇	八、〇〇〇
△農林省	一一三、〇〇〇	二六、〇〇〇
△商工省	一二、五〇〇	一、三〇〇
△遞信省	一八、〇〇〇	一二、〇〇〇
△拓務省	一六、〇〇〇	四、〇〇〇
合計	一、一〇三、[illegible]	四二八、八〇〇

これに依れば新規要求十一億三百萬圓に對し四億二千八百萬圓を承認することゝなり、更に右承認額中約五割八分に當る二億五千萬圓は軍事費で占めてゐることになる、而して右承認額四億二千八百萬圓を、十年度基準豫算十六億圓に加へれば、茲に明年度一般會計歲出豫算の總額は、二十億二千八百八十萬圓となる勘定である、以上の數字は卅一日までに判明したもので、一日更に保留した分を查定した上、精確な計算を行ふので增減はあらう

北鐵讓渡交涉の前途に光明を投ず

第三國債務は讓渡後ソ聯負擔

【東京國通】駐日ソ聯大使ユレニエフ氏は卅一日午前十時十五分廣田外相を訪問しモスクワ政府の回訓內容として前日の會見で提示した細目を敷衍說明すると共に退職手當支拂方法等に關し一、二の新提案を行つた、これに對し廣田外相は滿洲國側の對案を對照說明したがソ聯側の提案中には依然受諾し得ざる項目あるを以てユレニエフ大使はこの點に關し重ねてモスクワ政府に請訓する事を約した、但しこの兩日の會見で

一、ソ聯側は北鐵の財產目錄を九月一日現在に再調査し資金負債對照表を新に提出する事

一、これに依つて北鐵が第三國に負ふ債務に就いては讓渡後ソ聯側に於てこれが支拂の責任に應ずる事

に意見一致を見細目交涉の前途に一光明を投した

進行中又も ソ聯奇怪な發表

【東京國通】北鐵交涉細目に關し卅日、卅一日廣田ユレニエフ會談において交涉極めて友好的に進行中なるに、ソ聯政府が卅一日突如として交涉の經過を、公式聲明の形式で交涉の遲延は、日本側が頑固な態度を固執するためと發表したのを、外務當局は非公式左の通り語つた

交涉經過の內容については[illegible]廣田ユレニエフ兩氏間に交涉が圓滿に進行中なるに交涉遲延の責任論を爲す如きは眞意の那邊にあるか諒解に苦しむ、ソ聯としては國內的國際的理由からして斯かる態度に出ざるを得なかつたと思ふが、何れにしても不可解な態度である

支那駐屯軍參謀一行 張家口で支那兵に阻止さる

近來の侮辱事件又も問題化

【天津卅一日發國通】廿六日張家口を發しドロンノールに向つた我が支那駐屯軍參謀川口、松井兩中佐並に池田總領事館書記生一行が同日午前十一時頃張北西にさしかゝるや宋哲元麾下の第百三十二師衞兵一名保安隊員二名は青龍刀自動小銃等により一行の前進を阻止したので已むなく事情說明の爲め池田書記生が二、三步前進するや衞兵司令方喜成は同氏を拿捕暴行を加へた一行は急報により馳せつけた公安局將校により約一時間半の後漸く目的地に向け出發するを得たが護照を所持して通過地には夫々通知あるに拘らず我が駐屯軍一行に斯かる侮辱を與へた事は支那側當局の大なる責任問題として駐屯軍では柴山武官を通じ宋哲元に嚴重抗議を發したが我方としては宋の謝罪は勿論相手の出方一つではその移駐をも要求すべく强硬態度を持して居る

柴山武官の抗議

【北平卅一日發國通】川口・松井兩中佐の通行阻止事件に關し三十日柴山武官は宋哲元を訪問嚴重抗議するところあつた、宋は若し事實ならば甚だ遺憾とするところであるが何かの間違ひと思ふが早速取調べ何分回答をなす旨應答するところあつた

滿鐵辭令

【大連國通】滿鐵は一日次の如く辭令を發表した

鐵道部港灣課調查係主任 技師 中川四郎
ハルビン水運局長を命ず
ハルビン水運局長兼總務處長 參事 高畑誠一
兼務を免ず
事務員を命ず 港灣課調查係主任を命ず 富田貴一

その日〱

二ケ月半に亘る在滿機構問題の紛糾、こゝに大團圓

□

當初よりの事に遡れば遺憾の點なしと言へぬも、今日また何をか回顧せん

□

經緯に拘泥せず、決定に從ひ明朗に行動する、これ日本人的たるを記憶せん

□

若槻民政黨總裁辭意を表明、功成り名遂げたけふまた求むるものなき當然

□

若槻氏なき後の民政黨總裁候補、何れを見ても帶に短く襷に長し

若槻民政總裁 突如辭意表明

首腦部對策を協議

【東京國通】若槻民政黨總裁は卅一日首腦部に對し總裁の地位を去るべく辭意を洩したので首腦部は目下極力慰留しつゝあるが、總裁の辭意は相當强硬である、之がため民政黨は一日午前十時より本部に於て首腦部會議を開き重要對策を協議中である

辭任決意事情

【東京一日發國通】若槻總裁が辭意を洩らすに至つたことは、今更事新しく起つた問題ではない、即ち故濱口首相の＝後を＝承け民政黨總裁及び第二次若槻內閣を組織した氏は、本人にその希望なく極力固辭し、山本男の出馬を懇請したるも同男は絕對的に固辭したゝめに若槻男は故濱口氏と山本男の板ばさみとなり、非常に苦慮した結果暫定總裁の意味で引き受けたものであつた、而して若槻內閣瓦解後は安達一派の脫黨、五、一五事件の勃發に次ぎ世は擧げて非常時局となり、遂に辭任の機會を逸し今日に至つたものである、且つ若槻男が政黨總裁たると同時に國家重臣の一人として政變ある每に後任首相奏薦の內議に當るべき地位に在り、總裁として政黨を率ゐてゐる身分として其の間矛盾に逢着して居るので、其後時局は常態に復し黨內の狀態は自身が引退しても何等支障を來す虞れ無く加ふるに元老方面の意向も加味され遂に辭意を表明するに至つたのである、然し若槻總裁のこの辭任に對し黨首腦部は若槻男に去られては適當な後任總裁なき＝理由＝を以て極力慰留に努めてゐるので、若槻男自身相當苦心してゐる事は事實で此の進退問題が如何に解決されるかは即斷し得ない狀態に在る

人事往來

△高山勝司氏（新京署長）一日午後四時發奉天へ
▲アルベルウイロン氏（倫敦モーニングポスト紙記者）三十一日午後三時二十五分着哈市から同日午後四時三十分發上海へ
▲大谷光暢伯（東本願寺法主）夫妻三十一日午後四時三十分發東京へ
▲森岡正平氏（吉林總領事）三十日午後七時三十分着奉天から
▲田島少佐（奉天特務機關補佐官）三十一日着名古屋ホテル投宿
▲宅昌一氏（商人）一日午前十一時着奉天から大和ホテル投宿
▲丹羽保次郞氏（日本電氣會社員）一日午前七時着奉天から大和ホテル投宿
▲神谷俊一氏（台灣總督府技師）同上
▲大瀨正一氏（西安炭鑛職員）同上
▲菅原敏雄氏（ゼネラルモーター社員）同上

最後の切札八枚

■女八人感激時代■

（合作）
柳　咲子……峯　吟子
大林梅子……若水絹子
澤　蘭子……夏川靜江
木下双葉……飯田蝶子

＝港の彼女達＝ 58 鋭いカーヴ（六）

峯吟子作

『あのビフテキの樣に脂肪ぎつた太つちよのグリンは、今、踊つてるんだらう——あの幸福なけだものは！』

彼は考へた。

つまりこうだ。……

二三日前の晩、志摩子に猛烈に突ばねられて以來、太つちよのグリンは、急速度に、村井那里子と親密になつて行つた。那里子は、待つてゐたと言はぬ許りに、露骨に、無遠慮に、グリンの意を迎えて、志摩子の存在を强引に無視しようとした。彼女がグリンとドライヴした事實は、いち早く、店の者全部に知れ渡り、大變な衝動を與へ口にこそ出さぬが、ほとんど凡ての人々が志摩子に同情した。

踊子の一人は、レコードの傍に立つてゐる工藤に向つて、公然と憤慨した。

『もう、あたし達が辛抱出來ないわ、志摩子さん。あんたも、もつと積極的に、出ることよ』

も一人の踊子は、志摩子に說明し乍ら、むしろ、自分自身の方が、昂奮した。

志摩子は、しかし、默つて、笑はうと努めたが、それは背ざめた頰が痙攣的にふるへた丈だつた。その時、那里子の勝ち誇つた聲が、シャンパンを注文したのだ。

シャンパン三本！

それには、踊子全部に、ボートワイン三杯宛の贈り物がついてゐる。それは、派手な遊びにとへそれは純粹な動機からではなく、多分に物欲しさうな嫉妬が含まれてゐるにせよ。

しかし、那里子は、そうした同僚の思惑を勇敢に默殺して、益々人もなげに振舞つた。

今夜は、八時きつかり、グリンが、やつて來た。恰度、入口に近く腰を下して、扇を使つてゐた志摩子が立ち上つて、西洋の映畫女優の樣に、兩手を差し出さうとした時、那里子が、舞台から、いきなり、グリンの頸つ玉に飛び付いて、自分の特席へ運び去つて了つた。

志摩子は、唇を結んで、僅かに椅子にもたれかゝつた。

それから、二つ三つの番組の後、グリンは、志摩子にプロポーズしようとして立ち上りかけた。それを、那里子は、ほとんど、必死になつて、掴んで、立たせなかつた。

『あんなエゲツない人知らないわ！』

は違ひなかつた。

那里子の傲慢な振舞に顏をひそめた踊子達も、自分の收入については鈍感だつた。——それに、シャンパンは、先づ何よりも、景氣が好い！

そこで、那里子が頰を上氣させ、甲高い調子でシャンパンの注文をしたと同時に、一齊に、歡呼の聲を揚げた。手をパチパチと拍くもの、床を蹴るもの、ブラボーを叫ぶもの——ボスが握手をし、米搗バッタの樣に、グリンに三拜九拜し、那里子の御機嫌をとつた。

そしていよ〱乾盃。グリンと那里子とをグルリと取卷いて今や一同が飲み乾さうとした瞬間、何かのこわれる音と甲高い叫び聲がした。踊子全部が、悲鳴を擧げて、サツト飛び退いた。

志摩子が、凄じく眞蒼な眼を見開き、その顏を白くふるはせてゐた。いきなりグラスを床に叩きつけたのだ。

スピード列車首途
あじあの三等半數
釜山行ひかり號はがら空き
けさの新京驛風景

ダイヤ大改正の初日新京驛は午前七時發のひかり號を皮切りに全く目まぐるしい程の狀景を現出した、ひかり、あじあは乘客見送人の目新しさに眼を見張つて

＝發車＝した、ひかりは意外にも乘客が少なく一等車八名、二等車に十五名、一、二、三等乘客合して五十餘の閑散ぶり、これに比べてあじあ號は特別大演習見學の軍政部の一行を始め一等乘客十九名、二等乘客三十九名、三等客八十九名、總數百四十七名、あじあ發車前に芳賀鐵道事務所長、中山、野村、鹽川、高澤、佐竹、山口各係區長を始め關係主任十餘名參列の上井上神官によつて祓式、特急あじあ號正式運行開始の祝詞を奏上してあじあ號萬歲を三唱祝盃を擧げるころ特に同列車の處女運轉を祝福のため放送された『螢の光』は滑る車輛の音響に織込まれ歷史的運轉のスタートを切つた、入場口の變更、特急券の買求め、見送り人の車內乘り込み制止、發着連絡時刻通知等々次から次へと放送されるラウドスピーカー、入場口、車內に立つて旅館の案內に暇ない案內係り、驛員總出の動務ぶりはさながら職場そのものゝ場面だ、ひかり及ひあじあ、はとの次に

＝發車＝する第三十四、二十八、三十六旅客列車はいづれもひかり、あじあ、はとの發車十分乃至十五分で發車になつてゐる關係で普通の發車場所よりずつと端れの京圖線ホームから發車する（寫眞は新京驛發車間際のあじあ號）

あじあの三等客は
殆ど滿人のみ

特急あじあ號初日のお客さんは大体座席の半數を超へ普通列車に見受ける苦力や穢れた滿人旅客が一人も乘らず氣持ちのよいものだ、同列車の三等旅客八十九名の九分通りは滿人であつたのも面白い、之はあじあでも使用する滿人は大多數三等で間に合せるものと看られてゐる、なほ一日のあじあの乘客及び賣れ殘りは次の通り

△一等大連行十五枚（滿員）奉天行四枚（殘六枚）四平街行なし（殘五枚）計十九枚定員三十名に對して六十三パーセント

△二等大連行廿四枚（滿員）奉天行十四枚（殘十八枚）四平街行一枚、殘七枚）計三十九枚定員六十二名に對し六十四パーセント

△三等大連行三十九枚（殘二十一枚）奉天行四十五枚（殘三十七枚）四平街行五枚（殘十五枚）計八十九枚定員百六十五名に對し五十四パーセント

時發あじあ號で軍政部最高顧問板垣少將の案內で渡日の途についた

日本の大演習視察に
吉將軍等渡日

內地における秋季特別大演習見學の滿洲國陸軍將校、吉第二軍管區司令官、王軍政部次長以下三十三名は一日午前十

滿鐵社員健康診斷
五日から開始

昭和九年度、滿鐵社員定期健康診斷を左記日程の下に日曜を除き每日午後零時三十分から一時三十分までの間に受付ける

▲十一月五、六、七日　新京驛、保安區
▲八、九日　機關區、保線區、范家屯驛、大屯驛、孟家屯驛、陶家屯驛、南新京驛
▲十日　檢車區、列車區
▲十二日　建設局分所、販賣事務所、用度事務所
▲十三日　理事公館、地方事務所、經濟調査會
▲十四日　鐵道事務所、大和ホテル
▲十五日　消費組合、食堂車、中學校、商業學校、女學校、室町小學校、西廣場小學校、公學校
▲十六日　新京醫院

三土前鐵相
三十一日保釋さる

【東京國通】中島元商相等に絡まる疑獄事件に關聯して僞證罪に問はれ去る九月十三日起訴されて市ヶ谷刑務所に收容された三土前鐵相は取調べ一段落を告げたので卅一日保釋を許され夕刻出所した

日滿兩國々歌が
トップをきり
百キロ放送開局式けふ擧行

名實ともに東洋一を誇る新京放送局の百キロ放送開局式は在京日滿要人多數列席のもとに一日午前十一時半から寬城子新設放送所で盛大に擧行、山內總裁の挨拶があつて後總裁自らスヰツチをきるや記念すべき百キロ放送は日滿兩國歌を放送して放送のトップをきり大村監督部長その他の祝辭、祝電の披露があつて午後零時半式を閉ぢた

裴甲列車襲擊の
匪首老來好
遂に逮捕

【營口國通】匪首占勝と共に大同元年八月下旬滿鐵線分水驛を襲擊し驛長を拉致し更に推子平安街三〇に潛伏中を發見、逮捕したが取調べ進捗に伴れ十一件に及ぶ犯罪を自白し今更らに其暴虐ぶりに係官も驚いてゐる

近藤林業脅迫の匪賊
自警團に擊退さる

れば林區は素より燒拂ひ犬猫迄一匹殘らずたゝき殺すと凄文句を並べ脅迫を爲し北鐵東部線近藤林業公司宛に寄せて居た匪賊の一部は三十日午後形勢觀望の爲め右林區近くに進出し來り白系露人の自警團と衝突して擊退された

金川縣南方で
高山部隊匪團と遭遇

【奉天國通】卅日午後六時頃金川縣西南四里の地點水洞溝に於て討匪中の高山大尉の指揮する〇〇名は數十の匪賊と遭遇、激戰の後これを擊退した

門司に
滿洲國名譽領事館

滿洲國政府ではさきに門司に同國名譽領事館設置方を日本當局に折衝中のところ一日許諾の正式回答を得たので近く設置することゝなつた、なほ現在日本側に於て考究中の名譽領事館所在地は台北、名古屋、濟津である

北海道のレグホーン
產卵の新記錄

【青森國通】北海道の藥丸飼育のレグホーンは先月末迄の一年に三百五十六個の鷄卵を生み、日本記錄三百四十八個を破つた、世界記錄には未だ惜しくも一個足りない

街の日記

防空協會支部電話變更

防空協會新京支部の電話は五千百十一番を呼んで更に四を呼ひ出すことに變更された、新京特別市公衆電話である、

俊畝書伯展
三、四の兩日

來る三日と四日の兩日市內中央通り東亞產業協會三階で花島の名手俊畝書伯の個人展が開かれ需めに應じ即賣もする尺五三十五圓尺三二十五圓くらひである

江戶川中將
歡迎會賑ふ

日露戰役に特別任務班として活躍した數班の一つ、江戶川班の班長現江戶川豫備中將が來京したのを迎へた同班に屬した中島比多吉　大津順之助後藤（舊姓川崎）武、久米甚六の四氏を始め、特別任務班の關係者橋口少將の息勇九郎氏、青木中將の甥櫻井車藏氏は三十一日夜都東の料亭一つ家で歡迎會を催し荒川衛次郞氏染谷保藏氏等知人も加はり懷舊談に花を咲かせた

弓道段級審査
四日新京で

大日本武德會滿洲支部では滿洲に於ける弓道普及獎勵のため且つは年來の懸案を解決すべく弓道段級審査を四日午前十時より行ふことになつたが技術審査は新京滿鐵道場內、學術審査は新京警察署內で審査員は武德會教師數名、受驗者は約八十名である

大谷法含師お挨拶

東本願寺滿洲開教監督宮谷法含師は大谷法主來京中各方面からの好意に對し謝辭挨拶に一日本社來訪

寄附

城內西六馬路尾崎靜馬氏は三十一日が息女故初己さんの忌明に當つてゐるので同女が生前通學してゐた室町家政女學校に三十圓を寄附した

けふの銀相場

金票對國幣　一二四五〇
金票對鈔票　一三一八〇
國幣對鈔票　九二八〇
現大洋對鈔票　九六四〇

友邦建國の
人柱に散つた同胞の
魂を求めて（二）
死地にあつてなほ奮戰
龍江縣參事官中川氏

黑龍江省龍江縣參事官中川勝氏は大同二年八月十三日同縣下フラルキに於ける軍の會議に出席中、突如急報に接し、警務局長と共に歸任の途を船にて嫩江を下航、フラルキより五支里の地點西原屯に差しかゝるや突如三隻の民船に乘れる約四十名の匪賊現れ、中川氏の船をめがけて急襲した船には中川參事官以下約十名の同船者があつたが、銃器を携行せるものは警務局長と中川氏及び通譯李王列だけであつたが、中川氏は敢然船頭に立つて匪賊と銃火を交へ應戰に努めた、戰端を切つて僅か十分李通譯は匪彈のため胸部に貫通銃創を受け船中にドツと倒れてしまつた、同志を失つた中川參事官は奮然として匪賊に對し猛擊を試みたが、衆寡敵せず中川氏も亦頭部に匪彈を受け腦は飛散し無慘な殉職を遂げた、然し乍ら氏の奮鬪の結果危く死地を脫した同船はフラルキに歸還することが出來、この報に接した縣公署では明朝急遽現地に赴き中川氏の遺骸を收容し十五日縣城において莊嚴なる省葬を執行した、享年二十八才、中川勝氏は原籍高知縣高岡郡須崎町、高知中學校卒業後大阪外語蒙古語科に入學、同科を卒へて後事變前渡滿、特務機關に勤務し邊疆方面の實狀調査に任じつゝ、滿洲事變においては重大なる役割を果した人で事變秘史を飾る一青年として知られてゐる、大同元年六月民政部に入り駐哈連絡員として又北滿各縣救濟員として軍並に中央との連絡に當り、大同元年の北滿大洪水には被害者救出に獻身的努力をもつて實績著しいものがあつて任ぜられたもので、同氏の殉死は惜しまれてゐる（寫眞は故中川勝氏）

援軍來ると共に
哀れ銃殺さる
康平縣參事官南竹治氏

大同二年四月二十七日奉天省康平縣城は第十五路軍田、英賢の率ひる聯合軍に襲擊、包圍され縣城の危機は目睫の間に迫りつゝも、縣參事官南竹治氏らは日滿軍の到着を只管待望し乍ら監禁生活を續けてゐた、二十九日待ちに待つた日滿軍は遂に來た、その日午後三時から五時までの間に行はれた日滿軍の猛擊は遂に匪賊を潰走せしむるに至つたが憎くや匪軍は人質として拉致する豫定であつた南參事官を荷車の上に縛したまゝ銃殺して逃亡したのである、日滿軍の入城第一歩は悲しい哉、荷車の上に殉死せる無慘な南參事官の發見であつた、南竹治氏は滿洲事變直後來滿、混沌たる滿洲の情勢下にあつて奉天に本部を置く建國指導團体自治指導部員として活躍し專ら地方自治行政の恢復に奮鬪した人で、その後民政部地方司派遣員として奉天省下各縣の特別調査員に任命され、大同元年六月合安縣參事を拜命十月一日康平縣に轉じ同縣の治安恢復並に財政確立に奔命しつゝあつたが、雄圖空しく匪手に斃れたのである、敏腕な同氏の死は痛く各方面から惜しまれてゐる

朝鮮人の妻に
暴行を加へた邦人
夫から訴へられ口を割る

栃木縣足利郡小方町三十五番地現住所新發屯昌平街志田角治氏方工事現場員筒田義雄（二四）―假名―は卅一日午後三時ごろ工事現場附近を通行中の城後路居住朝鮮人金鉉鳳の妻李憲朱（四四）同上玄行浩の妻承山娘（二七）の兩名を呼止め木片を與へると稱し工事現場の小屋に伴れ込み二人の氣付かない內に內部から入口扉を閉め二人に對し暴行せんと情交を迫つたが聞き入れないので遂に暴力に訴へ李憲朱を押へつけ本望を達した、二人は歸宅するとゝもに夫に訴へ直に新京總領事館署に屆出たので同署では筒田を引致し取調べたところ前記の犯行を自白した

本紙購讀御申込みは
電話 三三〇〇番へ

結婚詐欺の蘭堂
懲役十個月

【東京國通】結婚詐欺の尺八の天才福田蘭堂は三十一日懲役十個月の判決を言渡された

吉林教導團の
殊勳

【吉林國通】目下奉天沿線磐石方面に出動中の教導團〇〇〇名は二十七日午後五時頃朝陽山東南方に於て相當有力の共匪軍と遭遇激戰一時間餘にして敵匪二十餘名を斃し敗走せしめたが此の戰鬪に於て味方も兵二名の負傷者を出した

扶餘のペスト
終熄せず

【大連國通】卅一日鐵道建設局入電によれば扶餘の工事場附近に於けるペストは依然衰へず廿九日午後二時路上に於て苦悶死亡せる患者を檢鏡の結果肺ペストと判明、附近の大消毒を行つた、滿鐵では檢病調査班を組織し戶別的檢病を行つてゐる

朝鮮からの種豚
コレラ

【安東國通】卅日安東縣農會で飼養中の種豚一頭が急死したので〔…〕の結果死因が豚コレラなることが判明した、右斃死豚は過般奉天省實業廳が畜產改良の目的をもつて朝鮮永登浦東洋畜產株式會社より購入して安東縣に配布した種豚十三頭中の一頭で豚コレラは人間に感染の虞れはないが、同種間には猛烈な擴大性を有してゐることとて安東檢疫所（檢疫事務以外に

松本孃の白菊號
一日は愈よ
奉天へ出發

【新義州國通】松本孃の白菊號は卅一日午後一時七分京城飛行場出發後順調に飛行を續け午後四時二十分小雨そば降る新義州飛行場に安着した、同夜は當地に一泊の上一日午前十一時頃新義州出發奉天に向け晴れの滿洲入りをなす筈である

滿洲國側に防疫の指導協力等を爲す）では竹內所長以下大活動を開始した

十一月	十日（土）　十一日（日）
	二日（金）　三日（祭）　四日（日）
雨天順延	

大連最終大競馬
電話三二五三番

滿鐵の重油動車
近く完成

【大連國通】滿鐵が日本各車輛會社に註文中の重油動車は明年三月完成、滿鐵に引渡さるゝことゝなつたが、この列車は三輛連結の全部六個列車大石橋―奉天間、大連―旅順間に運轉されるもので時速最高百粁平均七十粁と云ふ現在のハト以上の快速を有してゐる、列車構造上に於ても滿鐵特有の設計が施され、列車の連結點が一個の車臺上に乘り文字通り全くの芋虫である、尙旅順線は蒸汽機關車の列車一個を殘して全部廢止し此の重油列車を運轉することゝなつてゐる

壺蘆島築港
擴張準備進む

【營口國通】壺蘆島築港委員會では愈々築港施設の促進を圖る事となり此程十萬圓の調査費を計上し今冬の結氷、流氷狀況を調査することゝなつたが、同會の計畫によれば四千萬圓の豫算にて現在の第一防波堤を更に四百米延長せしめ二千噸級汽船八隻が同時に横付けとなり得る施設をなし一ヶ年百萬噸の呑吐力を目的とするものである

漂流中の榮興號
救助さる

【營口國通】營口開定期船榮興公司所有船天津、營口開榮興號（五〇〇噸）は廿八日桑河神合航行中浪浪のためクランクシャフトを挫折し航行不能となり一夜を漂流したが廿九日營口大連公司所有船和順號に發見され乘客三百六十九名を和順號に收容すると共に旅順に曳航し修理を始めた旨此程入電があつた

明春から快速プロペラ船計畫

【ハルピン國通】この夏の松花江沿岸航行で約三百萬圓の純益を擧げた航業聯合局では明年度より旅客の便を圖る爲め快速プロペラ船を就航せしめる事となり差當り三隻を購入この冬籠りの間に組立て來春の解氷期を待つて就航せしめる豫定である

討匪の武勳
楠元大尉戰死後報

【四平街支局】鄭家屯守備隊〇〇隊長楠元大尉戰死の後報鄭家屯守備隊〇〇隊長楠元大尉（三八）は十月二十八日夜雙山縣第二區張家附近に於て約二百五十名の匪賊と交戰之を擊退し二十九日朝更に曉の霜を蹴つて追擊を續行、長驅して雙山縣城西北方吉洪源棚に匪賊を急追するや窮鼠猫を咬むの狀態に在りし匪團は支那園壁によりて頑强に抵抗大尉は身に數彈を浴ひるも尙屈せず先進せる少數の乘馬隊を指揮督勵して率先奮鬪勇戰せしも遂に頭部貫通銃創を帶び午前七時十分遂ひに壯烈なる戰死を遂げた同大尉は資性英邁剛氣朴直而も情理に篤く上下の信望を受け將來頗に有爲の將校であつた昨多平壤步兵第七十七聯隊より特に選ばれて獨立守備隊に入り爾來數次の討伐に參加して常に武勳をたて又遼源及雙山縣治安維持會委員長又は顧問として其功績顯著同大尉の戰死に對し軍部の痛恨は言はずもがな地方官民の哀惜亦絕大である

注射でお困りの方へ
防疫本部から

既報、ペスト注射後の異狀に對してどんな手當をすれば完全また早く治癒するかについては關係者の最も知りたいことで、防疫本部又は新京醫院に電話で問合せ或はわざわざ出掛けて治療を請ふ者も少くないやうであるが、右について防疫本部で片山細菌檢査所主任は語る

その固まりが小さければ吸收も早いわけで、放つておいてもそのまゝ消えてゆくはずだ、それが大きくてどうしても取れないとなれば折開手術でも施すよりほかないが、何にしても御本人に於て防疫本部（細菌檢査所）又は新京醫院に出掛けて直つて實際に診察して見ないとその程度がわからない、此方へも既に四名ばかりそうした人々が見え、そのほかにも輕症で自分の手を綳ずに歸つた人もあつたが、兎もかく此方に來てさへ頂けば適當に指示申上げるしまた治療申上げてもよいから遠慮なく來て貰ひたい

夢窓茶語錄 (十)

大正寺詰　甲斐正英

遺訓偶感編

その一…良寛様…

世の榮辱を外に飄々枯坦その一生を童子達と遊び暮した偉人良寛様の一說打を御披露致しませうか

良寛様の晩年は流水任運寸藁のワダカマリもない明月の様な心境でした、彼の詠じた名句

「焚くほどに風がもてくる落葉かな」

の一句は私の心を何時も強く打つてくれます世塵にまみれかける秋の迷雲を一句拜誦しては「これではいかん！」と反省してゐます…

「焚くほどに風がもてくる落葉かな」

いいですね、たまらなく好きな句です、落葉かけた大樹の下に世の俗塵に染まぬ破衣の良寛様が默々と焚火している景が幻の様に眼前に映じます

西風一陣來！ざわざわと一風吹くと貰いばんだ落葉がヒラヒラと片々舞ひ落つる、その落葉を

「焚くほどに風がもてくる落葉かな」

の一句を口ずさみ乍ら落葉集めては炊く良寛様の靜寂不動の心境か目に見えて愉いです

私は之の良寛様に一問呈したくてたまらないです、でも時代を異にする私には親しく温顔に接して提示を拜聞することが出來ません

次に掲げる一挿話は私の最も痛快に思ふ良寛様の老人說化の一遺訓です

草の庵に落葉集めて燒芋でも燒いてゐた良寛様の戶外によぼよぼに老けた一老人が可愛い四、五歲の童子の手を引きながら訪れて參りました

「御免ん下さい」

案內を乞ふ聲もさも力なさげに聞えます

「御免ん下さい」

「なんだい！」

應ずる聲はしたものの更に迎える樣子もない

「良寛様はおいでかな…」

「おるよおるよ良寛はわしぢや」

「オーおいでの様だ！はいらしてもらをうか…」

老人は無遠慮に上つて行きました、良寛様は坐禪でもしていらしたか壁に向つて默々としておられます

「良寛様！」

老人は敷居の外からかすかに呼ひました

「ハイ！」

「今日はチトものお尋ねに參りましたがお忙しゆうは御座居ませんか…」

「ハハ…わしは年中暇ぢや…まアーは入りなさい…」

「誰有うございます、では遠慮なく…」

「なにごとぢやの？尋ねごとは…」

「ハイ…ハイ…」

老人は暫く考へてゐたが

「良寛様！人はなぜ死ぬのでござるかな…」

「なぜ死ぬるか？…」

良寛様も眼を閉ぢて考へられました

「爺サンヤ！それはな生れたからぢや…」

「生れたから…死ぬるのですかい、そしたらわしも死にますな…」

「そうよ爺サンあんたも一度は死なねばならぬわい…順から行くならおまへさんはもう永くは生きておられんわい…」

「そうでせうなし…」

老人は力なく打ちしほれてしまひました

「良寛様！」

老人の聲はなにごとかを嘆願するかのやうです…

新興滿洲帝國の帝都に入つて (下)

大谷光暢伯隨行布教使　大谷派本願寺參教院議長　河崎顯了

倩ら惟みるに、私共全人類の上に懸かれる一大使命は、最大多數の人々と共に、最大幸福の生活を出現し、天下和順し、國は豐かに民は安んじ、徳を崇め、仁に興るの國士を建設するに在るのであります、然るに此人生は淨邦の樂土でありませぬ爲、時には此崇高なる大使命に背叛する者があり、それが爲に國家の擾亂を來し、幾多の民衆を塗炭の苦しみに沈ましむることがあります、此時正義に燃え立つ者はそれを坐視するに忍びず、降魔の劍を振つてそれを討伐し、最大民衆の平和を齎らさんが爲に、恰も名醫が刀を執つて病者の患部を切開するが如き行動に出づるのであります、私共は今日の世界の現狀を仔細に觀察する時は、何んとしてもそれが泰平無事の世界であると云ふことは斷言し得ないのみならず、明日の世界に何が出現するか、殆んど其豫測が出來ないのであります、從つて私共は斷じて一日の安逸を貪ることを許されないのであります、此不安極まる時局に處し、私共は如何に善處すべきかにつきては、我天皇陛下が聯盟離脱の大詔中に明示し給ふ如く、善隣滿洲帝國の獨立を尊重し、其健全なる發達を翼贊し東亞の禍根を除き、世界の平和を保つの基を爲さんとするより外ないのであります、而して此大詔の實現を期する爲には、時に或は降魔の劍を振はなければならぬかも知れぬと云ふ覺悟を致してをる者であります、私共大日本帝國の臣民たる者は年の老若を問はず、皆能く此大詔の聖旨を感佩し身を挺してそれの實現に滿身の努力を捧げ來つてをるのであります

それにつき私共淨土眞宗の教徒は先きに申した、朝家の御爲と國民の爲とに念佛せよとの宗祖の遺訓は、今日正しくそれを實現すべき好個の時機であると確信するが爲に、我一派に在つては、昭和六年九月十八日の事變の勃發と共に大なる決心と覺悟をしなければならぬと痛感し、直ちに「精神立國」の大旆を掲げて、一般民衆の注意を喚起する爲に全力を注ぎ、重ねて上下の一致を促がさんが爲に「協力不退」を力說し、而して今日は「同信報國」の赤誠を實現せんが爲に、我宗門の全機構を動員して、それが促進に努めてをるのであります、斯うして內に在つては一般民衆の盡忠報國の實績を擧ぐる事に努力すると共に、外に於ては新興滿洲帝國の興隆の大業に翼贊せんが爲に、幾多の青年教徒を派遣して、最も堅實なる計劃の下に着々其實効を擧ることを努めつゝあるのであります、私共の宗門に流れを汲む者は五百萬の多數に上つてをるのであります、此五百萬の者が一心同體と成つて事に當らば微か國家の爲に御奉公を申上ることが出來るかと窃かに信じ、今日はそれの實現に全力を傾倒してをる次第であります、そうした行動を致してをります私共が、此度忠靈塔に參拜し、護國の諸勇士の盡忠報國の赤誠を追懷し、愈々粉骨碎身して國家の爲に盡して此英靈諸士の行蹟の跡を辿らなければならぬと云ふ實に力強き感激を惹起するのであります、私共は近く母國に歸りて此崇高なる感銘を我五百萬の門信徒を始めとし、廣く一般民衆に傳へざるべからずとの、固き信念を懷いてをるのであります

ニッポン　タロウ

猛獸狩の卷

1

(1) トタンニ、ヒシヤン！ト、アタマノウエヘ、ダチヨウノタマゴガフツテキタワ！、コレハタマラン！　トイフト、ゴリラノカラダハ、ドコカラドコマデタマゴノキミダラケ……アワテヽオキアガラウトスルト、アシガツル〜スベル、

2

(2) トタンニ、トビダシテキタタロウガ、コノワルイゴリラメ！　ト、ギユトゴリラヲフミツケテ、ドウダマキツタカ！ト、イフト、ダチヨウカモ、カナズチノヤウナクチバシデ、ゴリラノアタマヲ、コツン〜トツヽイタ。

ラヂオ情報

二日(金曜)新京百キロ放送開始記念特輯番組第二日

午前之部

六、五〇　ラヂオ體操(東京より)
七、一〇　ラヂオ體操(滿語)
七、三〇　音樂(レコード)(日語)
八、〇〇　天氣豫報(日滿語)
八、〇五　經濟市況(東京より)
九、〇〇　天氣實況(日滿語)(奉天より)
九、三〇　演藝(滿語)
一〇、〇〇　經濟市況(大連より)
一〇、一〇　經濟市況(滿)(奉天より)
一〇、二〇　料理獻立(日滿)(奉天より)
一〇、四〇　經濟市況(東京より)
一〇、五九　時報(東京より)
一一、〇一　經濟市況(大連より)
一一、一〇　經濟市況(滿語)(奉天より)
一一、二〇　經濟市況(日)
一一、三〇　ニュース(滿)
一一、四〇　ニュース(東京より)

午後の部

〇、〇〇　經濟市況(東京より)
〇、〇五　經濟市況(大連より)
〇、一五　ニュース(日語)
〇、三〇　演藝(レコード)(日語)
一、二〇　演藝(滿語)(奉天より)
二、〇〇　經濟市況(大連より)
二、一〇　經濟市況(滿語)
二、二〇　家庭講座(滿語)　萬國道德會新京總會　王靜修
二、四〇　日用品値段(日滿語)　經濟市況
二、五〇　ニュース(東京より)
三、二〇　ニュース(日語)
三、三〇　經濟市況(大連より)
三、四〇　經濟市況(滿語)(奉天より)
三、五〇　經濟市況(日語)
四、〇〇　ニュース(鮮語)
四、一〇　演藝(鮮語)
四、三〇　ニュース(滿語)
四、四〇　日語講座(奉天より)
五、〇〇　講師　近藤喜助
五、〇〇　子供の時間(哈爾濱より)
五、三〇　滿語講座　講師　高宮盛逸
五、五〇　番組豫告(日語)　氣象通報
五、五五　番組豫告(滿語)　氣象通報
六、〇〇　ニュース(東京より)
六、二〇　官廳ニュース(滿語)
六、三〇　祝辭(東京より)床次遞信大臣
六、三〇　祝辭(東京より)
六、五〇　祝辭(大連より)　岩原放送協會會長
七、〇〇　滿洲國音樂・雅樂　藤井關東廳遞信局長　吉林八旗司臣代表連
一、千歳醍醐　二、三寶讃佛　三、天女散華　四、酒金錢
闞雅風　武景動　試成動　安秀三　胡振明　賈玉讓　劉松林　柳福庭
七、三〇　軍歌(東京より)　陸軍戶山學校軍樂隊　指揮樂長　岡田國一
七、五〇　特輯演藝週間(第六夜)(東京より)　浪花節「長城嵐」東家樂燕
八、三〇　ロシア混聲合唱(哈爾濱より)　ロシア混聲合唱團　指揮テーポポフ
一、泡立つ川面　二、ボルガを下る　三、嵐の森にて　四、灼熱の戀　五、白樺　六、スチエンカ　七、ロシア搖籃の歌　八、夜
八、五〇　(奉天より)搖琴獨奏　刑赴靈　第一　長門怨　第二　水仙操　第三　普庵呪
九、一〇　長唄(大連より)　雛鶴三番叟　大連北村席連中
唄　松永和奈津　同　百々二　同　賓若　同　梶[?]　三絃　杵屋六寒三郎　同　京子　同　宇女若　同　春幸　小鼓　美知子　同　北村民江　大鼓　百々勇　大鼓　宇女奴　笛導　杵屋六寒三郎
九、三〇　ニュース(滿語)
九、四〇　ニュース(英語)
九、五〇　ニュース(露語)(哈爾濱ヨリ)

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊 本紙夕刊共八頁

發行所 新京日日新聞社

討伐か歸順工作か 岐路に立つ對匪政策

その根本策に對する私見 (中)

三好清太郎

□

今日蒼々として秩序が恢復し僻土、邊遠の地といへども治安を全うせん事に努力しつゝある満洲國政府當局より彼等を見れば、その政治に服せざるのみならず、儼乎たる國法を無視して、善良なる國民の生命財産を脅かし、或は恣に私損を徴し、土地を占取するなど、一日たりとも之れを看過する能はざること無論であるが、何故に彼等をして斯くの如き勢力を得せしめ、更にまた強大な國家の力を以てしても、簡單にこれを掃蕩潰滅し得ざるか、と言ふ理由について、冷靜に考察して見なければならぬ、私は茲には詳しい匪賊の沿革を述べる事を避けるが、張作霖時代より或は満洲事變前の學良時代より、引續き匪賊の集團的勢力が各地に存在し、満洲國政府の建設により、蕩々たる王道國家の出現した今日において、尚ほその實力の減退せぬ事を最も不可思議に思ふのである

匪賊の集團的存在は、苛斂誅求を尋常茶飯事とする醜官汚吏の跋扈跳梁した舊東北軍時代に於て、地方民の大部分が寧ろ却つて希望したところであつた、その國民性の然らしむる處、唯個人の利害休戚あるのみを知つて、國家觀念に乏しく、啻に自己の生命財産を守る事にのみ汲々たる彼等地方民にとつては、官憲も匪賊も同じであつたのである、かゝるが故に國家の强權を恃み、職權を濫用して貪婪飽くなき私利私慾をたくましうする官憲、軍閥よりは、寧ろ良民全體より無制限に搾取せず一定の匪團的統制と規律のもとに行動する匪賊の方に信頼し之に悅服してゐた事は事實なのである

□

然し満洲新政府の出現以來既に三ケ年以上を經過し、庶政漸くその緒に就きつゝあるに拘らず匪賊對策のみが遲々として進まず、現在の満洲國として最も緊要なる治安が確立されぬと言ふ事は遺憾至極であり、一日も早く之れを解決して新國家の威信を示し、體面を保たねばならぬのが當然である

然かも満洲國政府が常に標榜してゐる主義政策よりすれば斯くの如き問題は疾くに片付けられて、平和な樂土が全満に現出されて居つていゝ譯である、然るにその實情を見ると、些かも成績が擧つて居らぬのみか、匪賊關係は却つてますます險惡なる空氣を馴致せんとしつゝある狀態である、やにさへ見へる、一体これでいゝのか、吾々は甚だ惑はざるを得ない

或る部門に於ては日満合作を以て極力舊時代の改革に努めて居り、また實績を擧げてゐるに拘はらず、對匪賊問題のみが舊東北政權時代に比し、殆んど異なるところなきは不思議である、此の原因については各人の立場立場によつて種々に理由づけられるものあるであらうが、要するに、中央部に於ける施政方針が、よく各地方地方に徹底せず、満洲國政府要人が常に高唱して已まぬ王道政治が、未だ一般に光被して居らぬ事が、主なるものであらうと斷じて差支へない、殊に集團的匪賊の所在地附近の如き邊境に至ると特にこの感が深い

□

加ふるに、満洲國軍隊と言ひ警察隊と言ひ、その何れもが完全なる各國家機關の下に統制され、整然たる規律に服するに至つたとは言へ、地方に行き、さて實際にその狀況を見ると、遺憾ながら日暮れて道遠しの感なきを得ない、彼等を指導するものに、幾多の日系官吏があり、在鄕出身の武官があつて、新國家の治安を擔當すべき軍警の善導に苦心を拂つてゐるべき筈であるが、その指導精神に缺くる所あるものか、また傳統的に養はれた國民性そのものが根強く植え付けられてゐる爲に、一朝一夕の補導を以てしては、容易に改められぬものか、いづれにしても軍隊なり警察隊なりの素質が、全面的に改善され、形而上に於ては兎に角、實質的に、地方民の信頼を受くるに足るべき程度に、向上したとは受け取れない、却つて中には形こそ異つて來たものゝ、人民怨嗟の的であつた舊東北軍閥時代のそれと、毫も變らぬ部隊があつて、一般民衆の顰蹙を受けてゐる事實さへある事は考へざるを得ない次第である

□

論じて茲まで來ると、勢ひ、當面の問題として、匪賊は、徹底的に討伐すべきものであるか、然して討伐によつて、完全に之れを潰滅し得るものであるか、或は歸順工作によつて之れを招撫し、齊しく三千萬民衆の一分子として容認すべきか、また彼等が、適當なる宣撫工作によりて、完全なる良民となり、満洲國家に忠誠を致すべき將來性を有するであらうか否かと言ふ二つの問題が殘る、此の兩者に對しては、關東軍方面に於ても、其の內部間に各種の意見對策があると言ふことであるし、何れは赴くべき所に歸着する問題として、其の成行を觀望するとして、私は此の內の何れを撰ぶべきが適切であるかと言ふ點について、筆を進める前に、本問題を論ずべき一つの生きた例題となるべき、最近に起つた事實を記して置き度いと思ふ

海の外から

携帯自由撮影機 米國では高所に在る事物を撮影するため、最近携帯用撮影機が發明された、この機は伸縮自在で場所を問はず應用されるが地上一米位の所に四本のロープを附してロープの先は何んなものにでも結び付けて固定させばよい

弱い者は男である統計 弱い者は女なんて云ふものもあるが、病氣にかけたら男の方が弱い、最近獨乙で男女罹病調査を發表した、即ち昨年度男の罹病者は七十四萬人、女の方は三十五萬九千人で百分率にすると、男は四割六分女は四割一分と云ふ興味ある統計である

蛇に喰はれるな 蛇の走力は時速三哩 人間と蛇との塲合に付喰ふか喰はれるかがよく問題とされてゐるが佛國動物學者モーソー博士は各種蛇類を多年研究の結果蛇の最高走破力を時速三哩乃至四哩と決定人は逃げることによつて危難を免れると證言してゐる

四呎四方の大蟹 アラスカの北方ベーリング海には最近米國のカッター船が多數出塲してゐるが、此の程四呎四方の大蟹を捕獲した

巻煙草付クーポン 貨幣代用の 南洋ジャバ島の不景氣に付け込んだ米國では自國製巻煙草にクーポンを付けて賣り出し日用必需品を買ふ貨幣代用にせしめてゐるとはいさゝか驚く

電線渡し 米國の田舎の河川地方では兩岸の樹木を利用するか或は頭丈な棒杭を立てるかしてそれに二本の太卷針金を渡してその上を椅子に乘つて一本の線を引けば對岸に達すると云ふ仕組の電線渡しが大流行

北鐵東部線 大討匪從軍記 (二)

‖國通關口特派員‖

—白馬紅衣の志士墓中で苦笑—

こうして日満軍數次の討伐にも不拘、憎らしい程執拗に治安を紊してゐる匪賊は、何時頃から？そして何處から？どうして？說の傳ふるところに依れば、漢の敗將が公主嶺に據り密かに漢朝の復興を企て盛んに金銀米穀を蓄へた、素より敗軍亡命の客である、手段は勿論掠奪であつた、常に紅服を纒ひ白馬にまたがり、長劍を帶び、雄姿颯爽たるものがあつたと言はれてゐる、星霜の流轉に彼等も一伸一縮一時は全満蒙の曠野を埋めた匪賊も、輝しき大満洲帝國の肇國と共に、其の掃蕩は順次進み、今は苦力姿に農民姿に僅かに僻遠の地に蹯し、一宿一飯に汲々たるを見るとき嘗ての白馬紅衣に志士を氣取つた漢朝の覇氣も墓で苦笑を洩らしてゐることであらう

記者は寧安○團司令部より東京城部隊に赴くべくバスに便乘して右折左折、滾々たる水量を重疊たる山岳にゆだねて音もなく南下する牡丹江の流れに沿ふて東京城に至る三時間、はからずも人煙稀な僻遠の地に日光鹽原の秋色をしのばせる勝景に遭遇した悠容たる流れも山に阻まれ、木曾の清流に似た急流に沿ふて、切開かれた山道は坦々として自動車のスピードを滿喫させて吳れる

二十哩、二十五哩、三十哩、眼前に迫る鬱欝黑膚の岩石を包む紅葉は折柄西空を紅に染めた夕陽を浴びてまばゆいばかりの秋色だ、陶然と賞でる秋色にハッと思ふ瞬間自動車はその山を避けて右折 右下に見下す淸流は河鹿鳴くかと疑はれる谷川のせゝらぎだ、何鳥か一羽岩に散るしぶきを浴び乍ら「チチゝゝ」と戯れてゐる、のどかなこぼれるばかりの秋色だ、我を忘れる數時、突如!!銃聲一發!!運轉手が一寸耳を傾けたかと思ふと二發!!ハッとした記者は左側に聳立する山頂に確かに見た

×

火をはく一挺の銃口「匪賊？」「靜かに！」運轉手の押へつけるやうな聲に同車の一同は「若しや」の疑問が決定的となつて身体は無意識に席を離れ全神經は兩眼に集中されて闇を通して山頂に擬り匪影を求める、極度の恐怖にバスは宙に浮くかと思はれる超スピードで走る、山間にこだまする、無氣味な銃聲を後に走る走る、緊張、恐怖、沈默の數分は過ぎる、匪賊の黑い魔手兇惡な動作等々拂ひのけても腦裡をかすめる、暮れるに早い秋の陽光は既に西山に沒し無氣味に永い月はにぶい光を山膚に投げてゐる「匪賊が恐ろしくておいら達の仕事が出來るけい！」國寧線建設に老爺嶺にあること一年といふ飛鳥組員は拳銃を撫してルームライトほのかな車中で匪賊襲來そして擊退の武勇傳一くさり

鐵道測量隊を見ろよ、人つ子一人ゐない千古の密林老爺嶺測量の苦勞は皆んなに判りつこねえよ

×

威勢のいゝ江戸辯で語る、國寧線測量隊の苦心は全部が匪賊だ、重疊たる山間をくねつて進む新線國寧線建設が如何に匪害を恐れたか僅か二、三十名の掩護隊と共に道なき密林に二抱へ三抱へもある老樹を切つては一歩々々進む鐵道建設のパイロット測量隊は覗く測量器に匪影の撮ること幾度か、くる銃火に測量棒で突貫し乍ら移動する百餘日、遂に建設の尊き犧牲も幾人と無く出した

此處まで語り來ると兄哥氣取りの組員も何時かは兇手に殪れた同僚に想をはせたか目をしばたゝいて首をうなだれる車中聲なく疾驅する自動車の爆音のみ高原の夕陽をふるはせる

×

蠢動常なき匪賊に日夜の討匪行を續ける皇軍の勞苦をしのぶと共に軈て僻遠の地に及ぶ王道の光を思ひ、寧安東京城間が都塵を避ける一日の淸遊地として榮え行く日を胸に描いてゐる中、軈て東京城はヘッドライトに照されて前方に黑い塊りとなつて迫つて來た

東亜文明の華やかな魁をした渤海國の古都東京城、嘗ては人口十萬を超へ、現在の奉天吉林の兩省より遠く高麗、咸鏡、平安の二道に及ひ、黑龍江沿岸に覇を唱へ、五京十六府六十六州、一郡一縣百卅八縣を置いて東亜に君臨したと傳へられ、又その艦隊を渤海灣に泛べ山東半島の各沿岸を襲ひ、新羅支那、日本と交遣使を交換したと言はれる千二百年前の古都は今は昔の豪華を忍ぶよすがもなく、僅かに地中に發掘される古瓦に考古學者のよき資料を提供してゐるに過ぎない

昨五月縣警察隊の兵變と匪賊の攻擊に焦土と化した市街には今や白衣の同胞の活躍舞臺として白壁も新しく建設に孜々として寧日ない嘗ては高麗の古都、今は新興朝鮮人に依る復興、記者は感慨深い一夜を東京城の廢墟の上に瞑した

機構問題解決で大連特務機關縮少
土肥原少將は奉天へ引揚げ
萬事一段落を告ぐ

【大連國通】重大使命を帶びて特設された大連特務機關は、在滿機構改革紛糾も一段落を告げたので、愈々近く最少限度に縮少され、土肥原少將も殘務整理の付き次第來る八日頃奉天に引揚げることゝなつた、然し外人の往來多く直接支那との交通路に當る大連の特殊重要性に鑑み、又在留民の永久存置の希望もあるので奉天機關より出張の形式で事務所を關東倉庫内の一室に設置する事に内定し、關東軍に於ては目下少佐級の機關員一名の人選を行つてゐる

紛糾大團圓に
各方面とも大喜び

全關東廳員の辭表撤回の報を齎らして各方面を訪へば「結構な事だ、欣然の至り」と最上級の喜びの言葉を浴びせて語る

特務機關長 土肥原少將談

圓滿解決して欣快に堪えぬ凡ては誠意と誠意の投合である、雨降つて地固まるの喩へもある如く、今後は軍官民一致協力して此非常時局に善處し、友邦滿洲國の成育に盡力したいと思ふ

總務廳長 遠藤柳作氏談

本日その報に接し滿洲國官吏一同、非常に喜んでゐる議論をすべき時は大いに議論するが、一旦決定すればさらりと行懸りを捨て、大同に就くところに日本人の本領がある是で機構問題も解決した譯であるから、今後滿洲國に對しより以上の援助を與へられ、以て日滿共存共榮の實を擧げられんことを切望して止まぬ

憲兵隊長 馬場中佐談

何等かの形で圓滿解決を期待して居たが、長官の出馬により全廳員の辭表撤回は喜ばしい、大局的見地から手を携へて國策遂行のため一致して進みたいと思ふ

地方事務所長 荒木章氏談

拓務大臣も兒玉伯に決つた事により、今日あることは豫想せられたが、今後は一切を清算して國策の大理想の下に邁進を望んで止まぬ

取引所長 伊藤惣次郎氏談

長官の御努力で全職員一致して大目的の爲に欣然として仕事の出來ることは非常に結構だ、今迄各方面に種々と御心配を掛けた事を恐縮に存じます

關東軍幕僚談

菱刈長官の旅順到着と共に三局長が自發的に辭表を撤回し同時に關東廳全職員の全面的辭表撤回となつて久しきに亘つて一般に暗雲低迷しつゝあるかの如き不安感を與へてゐた誤解が一掃された事は誠に同慶に堪えない、軍としては今後關東廳と一體となつて既定の國策の大理想遂行に協力して行ける事に此上ない喜びを感ずる次第である

哈市石油市況
露油輸入激減

【ハルビン國通】北滿にかけ
る石油供給社はスタンダード、
アジア、テキサスの順序であるが、ハルビンに於る取引高は九、十の二ケ月でガソリン四萬箱、石油九萬箱、前年同期に比して約三割の増加である倘ソ聯産石油は急激に減少し九、十兩月の輸入は皆無となつて居る

暴力行爲は親善上遺憾
ソ平原事件に堀領事抗議

【ロスアンゼルス卅一日發國通】ソールトリバー平原在留日本人に對する暴行事件に關しロスアンゼルス領事は三十日アリゾナ州知事ムーア氏に對し電報を以て嚴重抗議を提出した、抗議内容左の通りである

余が再三の要請並に貴下の保障にも拘らず廿九日夜又復在留邦人の住居附近に爆彈事件あり幾多の慘害を惹起し無心に眠る邦人幼兒一名を負傷せしむるに至つた過去六週間に於て暴力行爲前後七回に及んで居り併もまだ一人の容疑者も逮捕されて居ない予はこれらの暴行が米國民の一般感情を代表するものとは信じないが平和忍從的な日本人農民に對する反覆的暴行が現狀のまゝ放任されるに於ては兩國識者の努力に依り漸く善隣關係にある日米兩國民間の感情が惡化するに至るのを恐れる、予は知事閣下が更に一層の努力を拂ひ不逞の暴行を調査し、日本人の生命財産保護に努められんことを希望する、御盡力の結果に就ては更に御報告に接すれば幸ひである

負傷した事實無し
知事から返電

【ロスアンゼルス卅一日發國通】堀領事の抗議電報に對しアリゾナ州知事は左の如き返電を寄せ來つた

御來電に依り直ちに州警察に命じ、現地に署員を派遣し實情を調査せしめたところ、負傷者を出した事實はないこと判明した、警察は毎夜特別警官を日本人農園に配し警戒に當らせてゐる今後も日本人の保護に對しては最善を盡す考へである貴下の協力を感謝する

三角洲領有問題で
滿ソ技術委員會議停頓

黑河に於て目下開催中の滿ソ共同技術委員會は會議當初に於て政治問題には全然觸れざる様協定され開始されたが果然ソ聯側に於ては三角洲領有權問題を持出し、同三角洲の領有權を主張するに至つたので、會議は遂に停頓狀態に陷り、一方黑龍江の流氷が猛烈となりソ聯側委員の對岸ブラゴエよりの渡河が危險となつたので一應こゝに委員會を打切り結氷を待つて來月中旬頃より委員會を續行することになつた 尚會議出席中の堀内事務官は一兩日中に新京に歸還し經過を報告する筈である

四平街、吉林ハルビンに
國防婦人會設立

全滿に魁けして今夏設立を見た新京國防婦人會の活動振りは屢報の如くであるが、之に刺戟されて滿洲各地に於ても同婦人會設立の氣運濃厚となり着々準備中のところ今回左の三支部の發會式が擧行されることとなつた

四平街支部 十一月四日
吉林支部 十一月十日
ハルビン支部十一月十五日

日本の新方案に米國は同意出來ぬ
流石作戰部長突込んだ質問

【ロンドン卅一日發國通】卅一日の日米會談は最初松平、デウイス兩代表の私的會談とされてゐたが、その後米國側は代表部全員出席する旨通告し來たり卅一日午後四時半より開會され、會談は劈頭先づデヴィス代表が口火を切り日本政府の軍縮新方式に就き質問の矢を放つたが、續いて山本代表、スタンドレ顧問の間に技術的事項につき火花の出る様な一騎打ちの理論鬪爭が展開されたスタンドレ顧問は新軍縮方式案の中特に海軍力に就き

一、各國共通の最大保有量を設定するは要するに總噸數主義に外ならぬ 米政府としては同意出來ぬ

一、攻擊的武器と防禦的武器の區別を爲すことは技術的に根據がない

一、日本は英米と均等の地位に立つてゐないと主張してゐるが 海軍力は各國の必要並に各國の當面する問題の性質如何で決まるもので日本の主張は容認出來ない

等の諸點に亘り端的に見解を表明した 流石に作戰部長の要職に在るだけに提督の質問は突込んだ具体的のものであつたが 山本代表はてきぱきと之に應酬した、但し兩者の質問應答は實質的には兩者の主張に何等動き無く交渉は依然進展を示さない、但し今後更に會商を續けることを申合せて六時半散會した

判る迄説明
會談後山本代表語る

【ロンドン卅一日發國通】日米第三次會談後山本代表は左の如く語る

米國代表部との折衝は野球で言へばまあ零對零で持越しといふところであらう、ドロンゲームにならぬかつて? 今からそんな事は判らないよ、何しろ會議を始めてから未だタッタ十日だ判らねばわかるまで懇切丁寧にどこまでも説明するまでだ、スタンドレー提督の意向はどうかつて?、何と云つても米國の作戰部長だ、終りには僕が米海軍の總司令官になり彼が聯合艦隊司令長官になつて見たらどうだと云ふところで別れたよ

白羽の矢は
町田、川崎兩氏
民政黨後任總裁
=決定までには時日を要せん

【東京國通】民政黨では若槻總裁が辭意を飜へさなかつた場合の黨の陣容建直しに就ては山本達雄男及び宇垣朝鮮總督が政黨受難時代の今日一大決心を爲し後任總裁となることは絶望狀態にあるとの見透しから

一、町田總裁
一、川崎總裁
一、四人の委員制度

の三案が考へられてゐるが、委員會制度については黨の統制を完全ならしむるには種々の支障があるのと將來に禍根を殘す虞れがあるので問題が表面化することはない、又川崎卓吉氏の後任總裁説には黨の空氣を一新し擧國一致現下の時局に積極的に善處する上に於て最適任者としてゐるが川崎氏は黨の先輩をさしおいて總裁となる意思なく、結局町田商相に落着くことにならうと觀られてゐるが、町田商相を説得するにも相當時日を要するものとみられ、民政黨が新總裁を迎へて陣容を建直すまでには相當の時日を要するものゝ如くである(寫眞は町田忠治氏と川崎卓吉氏)

若槻氏辭任は
政民の連繋を促進か

【東京國通】若槻總裁辭任後直に政局に重大影響を與へることは有り得ないが、將來の政局に對して今回の問題が中心となり可成りの波瀾を捲起すものと豫想される、殊に政民連繋に對しては重臣と總裁が去つた後であるから、民政黨は從來に比し自由なる立場に立つ事となり、加ふるに政友會は此一事により民政黨の決意の程を充分諒解するであらうし、連繋の目標が當面の政治問題を離れての憲法政治の基礎を確立すると云ふ大所高所にあるので非常な好影響を與へ急展開するのではないかと前途を期待されてゐる

幹部會で
若槻總裁慰留を決議

【東京國通】民政黨幹部會は一日午前十時開催、若槻總裁辭任申出でに依る善後處置に就き協議した結果、飽までも慰留して思ひ留まらしむる事に意見一致正午散會した、首腦部十一名は若槻總裁邸を訪問極力慰留を懇請した

町田商相の辭任を危惧
政府はその動向に注意

【東京國通】町田商相が若し民政黨總裁に就任した場合は同氏は政民連繋運動と同一歩調を執る意味よりしても閣僚たることをいさぎよしとせず從つて町田商相の辭任問題も惹起して來るのではないかと考へられるので政府は若槻總裁辭任に伴ふ同黨後任總裁問題並ひに同黨の動向に對し深甚の注意を拂つてゐる

駐奉米總領事後任

【奉天國通】前駐奉米國總領事マイヤー氏の歸國後チエース領事が其の代理を努めてゐたが、今回廣東總領事ジョセフ、ウイリアム、バランタイン氏(四六)が其の後任に任命、兩三日中に大連經由着任する事となつた、同氏は一九〇九年アメリカのアムハースト大學を卒業後日本語の學生通譯官として神戸、横濱等の總領事館に勤務、其後駐日大使館附となり一九二一年大連に轉勤し、一旦歸國後三十年にはロンドン海軍會議に秘書官として出席同年總領事に昇任廣東在勤となり今日に至つたもので、日本語に非常に堪能で且つ東洋事情に精通して居り氏の奉天に於る今後の活躍は注目に價ひするものがある

一日の開局式に際し山内總裁が百キロ放送のスイッチを入れるところ

赤字公債六億
明年度公債總額百億に達せん

【東京國通】大藏省豫算省議は卅一日を以て各省新規要求豫算の査定を一通り終了したが之に依れば十年度豫算總額は大體廿億二、三千萬圓となり歳入豫算見積りは約十四億一千萬圓となつてゐるので結局六億に上る字補塡策を講ずる必要に迫られた、而して増收豫想額は非常時利得税に於て四千萬圓内外其他の増收が實現するとしても全部で一億圓以下の歳入増加を覩るに過ぎず結局六億に近き赤字公債の發行を餘儀なくされるので明年度に於ては日本公債總額は優に九十億を突破し百億圓に乘んとする傾向をみるに至りまた今後更に大規模の税制改革が斷行されることは必至の成行であらう

偶語

菱刈長官の赴連によつて三局長以下關東廳全職員は辭表を撤回、こゝに紛糾また紛糾の機構問題も遂に大團圓を告げた▼曩日來の空氣を見ていづれこう落着くものとは誰にも豫想されたが、いざ落着いて見るとヤレヤレといふ感じがする、何にしても犧牲者の出なかつたことは何よりであり雨降つて地固まる結果ともなれば更に此上ない▼若槻民政黨總裁が突如辭表を表明する、いや突如といふよりも日頃の念願を吐露したまでゞ、時局も漸く常態に復し黨内の狀態もこゝらが潮時とでも考へたのであらう▼がその後任に誰が推されるか想像もつかない今日今すぐ男に去られてはと黨内から極力留任を希望するであらうから、その實現性については全く疑はしいものと見なければならない▼さりながら民政黨もいつまでも嫌がる黨首を戴いて現狀のまゝでは許されないだらうし、若槻男自身もこの上ともそうそう永くその任にあらうとは考へられない、適當な後任總裁を迎へて緊褌一番せねばなるまい▼きのふダイヤ改正の初日特急「あじあ」の乘客が半數釜山行「ひかり」もがら空き どうも滿鐵として心細い話だがしかし「あじあ」に滿人がその多數であつたなどは面白い現象である▼滿人間にも目に見えてスピード時代が來たものとして大いに祝福しやう

天氣と氣温

天氣 北西の風晨後晴
氣温 最高七度一 最低一度六
日出 前六時十六分
日入 後四時二十九分
月出 後〇時五十分
月入 後一時五十六分

問題はない
大達法制局長大連で語る

【大連國通】東京に赴いてゐた滿洲國大達法制局長は一日午前香港丸で齎連、正午ハトで歸京の途に就いたが同氏は左の如く語る

公用半分私用半分といふ形で別に重大用件を帶びて行つた譯ではない、趙立法院長が辭める事になつたので來一寸その方の事をやつて來たが、石油問題は英米蘭三國から抗議があつた樣だが一國が專賣法を布くといつて抗議の筋合ひでもあるまい、眞意が何處にあるかは判らないが、專賣法で國内販賣の既得權を喪失するのは痛い事に違ひなからうが其點で困るのは何も外國人ばかりではない國内人も同樣だ、門戸開放機會均等の見地からは勿論、九ヶ國條約上にも何等抵觸するものではない

駐日領事館
職員暫行定員令制定

朝鮮新義州には現に滿漢人總數七千餘名在留し中二千餘名は純然たる滿洲國人と推定せらるゝものなるが在留民保護の機關を有せざるに依り同地に領事館を設置し積極的に在留民の保護指導をなさんとするものなり、尚日滿兩國の通商經濟關係の緊切進展に伴ひ更に日本國首要都市に領事館を設置する要あるべきもこれ等領事館増設の場合は暫行的に現行定員表を改正するに止め將來各國に在外公館を設置するの時期に至つて綜合的に外交官及び領事館定員令を制定する筈

哈市の撫順炭
需要激增

【ハルビン國通】去る四月より先月末までのハルビンに於る撫順炭の需要高は三千四百萬圓に達し、昨年度多期に比較すると約七百萬圓の増加である

人事往來

▲堀切善次郎氏(前内閣書記官長)一日朝ハルビンへ、六日午後歸京、同日午後四時三十分奉天へ向ふ豫定
▲瀨戸保太郎氏(廣告代理業)滯京中のところ三十一日朝ハルビンへ
▲久保田弘氏(若素本舗取締役支配人)同上
▲野村嘉六氏(代議士)三十日來京國都ホテルに滯在

延びゆく滿洲國に微笑を投げつゝ宇佐美顧問去る

大學卒業以來足踏なしの官吏

名殘惜しげに語る

建國間もない青年滿洲國のお目付役として昨年二月就任以來の宇佐美顧問は六十六の老年にも似ず一日として役所を休んだことがないといふ勤勉振りで、遂に明治二十九年學窓を飛び出して以來實に三十九年、一日として官吏でなかつた日はなく、一日としてお役所を休んだこともないといふ恐らく世界的な役人生活勤勉レコード、ホルダーとしての輝しい三十九年間の役人生活を去ることとなつたのである、いよいよお役人とも最後の別れの日、一日國務院で感慨深そうに語つた

今回一身上の都合で滿洲國を去ることとなりましたが昨年二月私が滿洲國顧問の重責に就任以來今日の滿洲國が歩んで來た道は實に目覺しいものがあります、私が就任當時の滿洲國は國際聯盟問題や國內における匪賊の跳梁等内外共に多事多端な情勢にありました、その後日本は敢然國際聯盟を脫退しましたが、滿洲國建國の裏面にあつて日本の擧國的支援は涙ぐましいものがあります、今や滿洲國は國內の治安確立し去る三月一日には帝制の實施を見、愈よ國礎の固さを加へ王道は全國に輝かんとしてゐる更に來る十二月一日から新地方行政制度が施行されることゝなり、建國の偉業着々と築かれつゝある滿洲國を去るに臨んで感慨深いものがあります

一方育ての親を失ふ遠藤總務廳長の心境はどうであらう、今をときめく滿洲國總務廳長として遠藤柳作氏が滿洲國の建設にその才能を縱横に振ふことが出來る素地を作つて吳れたのは宇佐美顧問であるといはれてゐる、育ての親宇佐美氏と離れる遠藤廳長の胸にも亦いひ知れぬ感慨がひそんでゐることであらう

六日あじあで歸國の途に

滿洲國顧問の顯職を退いた宇佐美勝夫氏は來る六日發あじあで歸國の途につくこととなつた

略歴

宇佐美勝夫氏は明治二年五月山形縣士族として生れ、同二十九年東京帝國大學政治科卒業後、內務省に入り德島縣、京都府各參事官、內務書記官富山縣知事、朝鮮總督府內務部長、同土木局長に歷任し大正十年東京府知事を經て同十四年賞勲局總裁に任じ昭和二年內閣資源局長官に、昭和八年二月滿洲國顧問に聘せられ今日に及んだ人で、特に親任官待遇を賜はつてゐる、昭和九年七月貴族院議員に勅選され現に貴族院議員である、正三位勲一位、大正十五年ベルギー皇帝陛下より同國最高勲章グラン、クロア、レオポール第二世勲章を贈與された程の人で、今回の離滿は各方面から惜しまれてゐる

宇佐美國務顧問

一日附で依願免職

滿洲國々務顧問宇佐美勝夫氏は左の如く一日附依願免職となつた（號外再錄）

滿洲國々務顧問　宇佐美勝夫

依願免本職

記者團と會見の宇佐美前顧問

皇帝御巡狩を前に

一仕事を目論んだ匪首逮捕

吉林憲兵隊の大手柄

【吉林國通】吉林憲兵隊では去る十月廿〔?〕日滿洲國皇帝御巡狩を前にして非常警戒中商埠地東大灘の空家に五人組の匪賊が潜伏せるを探知し、決死隊を組織して踏込み拳銃亂射して逃走を企てる頭目王心紐（二七）を逮捕、嚴重取調べ中のところこの程に至り犯行の全部を自白するに至つたので卅一日滿洲國側に引渡した、王は山東生れ四、五年前匪賊の群に入り中部吉林の匪賊の大頭目太平の右腕となり自らも部下七、八十名を率ゐる靠山といふ頭目で京圖線老爺嶺吉林省城を中心として荒し廻り今日に至つたもので匪首靠山の逮捕は吉林憲兵隊近來の大手柄とされてゐる

金嶺寺凌源間 北安辰淸間

十二月一日本營業開始

滿洲國交通部では建設中の國線金嶺寺凌源間並に北安辰淸間鐵道について一日左の如く發表した

金嶺寺（舊名大坂）凌源間並北安辰淸間鐵路は來る十一月三十日を以て工事完了十二月一日より本營業開始し得る豫定なり

白菊小學校きのふ開校

最初から堂々たる陣容

きのふから開校した白菊小學校に轉入の兒童は永久的のものが一年生九十五名 二年生六十五名（この外室町から一年十九名、二年廿名）で二學級づゝ、この外一時的に西廣場小學校から引越したものが六名合計一千二十二名、先生は諏山校長以下二十名で開校早々から堂々たるものである一方西廣場小學校に殘る兒童は三年三百十九名、二年二百七十一名、一年二百五十三名各學年とも五學級づゝ

下りあじあ號

定時新京着

最初の下りあじあ號は一日午前九時大連を發車しダイヤ通り大連新京間七百一キロ八を八時間半で疾驅し一日午後五時三十分定時に新京驛に到着した乘客は關東憲兵隊司令官岩佐少將を始め七分通りの旅客で朗かなあじあ號の第一頁をくり擴げた

南新京驛

ダイヤ改正で停車列車增

南新京驛は從來の停車旅客列車は上り七、下り七列車であつたが今度のダイヤ改正と同時に上り、下り共に左の九列車が停車する

上り列車

三十四、百五十、二十八、四十二、三十六、百五十二、百五十四、四十四、三十八

下り列車

三十七、四十一、百四十七、四十三、百四十九、三十三、二十七、百五十一、三十五

なほ同驛では一日から手小荷物の取扱ひを開始した

新京居留民會

新築移轉

新京居留民會では事務擴張の必要から八月以來領事館構內に起工新事務所新築中であつたが十月末竣工一日新事務所へ移轉した

運動

新京商業のラグビー部

州外大會で大奮戰

十月廿八日奉天醫大グラウンドに於て州外中等學校ラグビー大會が行はれた、參加校は京商、鞍中、撫中、奉中の四校で先づ午前十時京商對奉中の試合から始められた、京商FW斷然强く見事なヒールアウトを見せてボールをTBに送ればTB奉中FWのバックアップ遲きに乘じてトライを重ね結局トライ二、ゴール二を擧げ計十六—〇にてハーフタイム後半京商FW前半の如き元氣を見せず奉中に度々ボール出るを幸ひ奉中TB奮闘しトライ一、ペナルゴール一を擧げたるに反し京商終始凡戰何等報ひず結局十六—六にて京商勝つ次いで十一時より鞍中對撫中の試合が行はれたが双方讓らず接戰遂に延長二十分に及び鞍中勝利のトライを擧げ三—〇にて撫中涙をのむ、かくて三時半より京商對鞍中の決勝戰が行はれた俄然京商フォワード强力FWの名に恥ぢずボールをどん〱うばひ取りバックに渡せどもTB間の連絡惡く鞍中の好防に阻止される十分坂根の活躍によりチャンスありあはやトライと思はれたが味方のカバー惡く敵ゴールライン前十呎邊にて惜しくも無爲に終る又田中のインタセプト等ありチャンスあれ共止めらる鞍中FW度々ルーズにボールを取りTBに渡せばTB駿足を利し縱横にかけまはり且味方のフォローなき爲にトライ二を擧げハーフタイプ後半京商FW益々好調にして奮闘よく敵陣に攻め入りTB又調子出でしばしばチャンスを迎えたれども鞍中FBの好防に阻止さる又京商敵陣二十五呎邊にてPKを得朴ゴールをねらえども惜しくも成らず鞍中敵陣十呎ラインの邊のルーズにボールを得京商フォワードのバックアップ惡きに乘じ右隅にトライし結局九—〇にて京商涙をのむ（奉天鐵路總局原生）

四十九才で身長二尺七寸

『國都建設狀況を視察する』と晴がましく昨日來京

兒童が隊にする一寸法師が好況の波に乘つてはるばる圖們の田舍から國都新京を訪れたこの一寸法師は本籍山東省積密縣城裡で圖們江に生れ黄誠細絢射（四九）で身長八三、五センチ（二尺七寸）足二二センチ（七寸三分）腕二五センチ（七寸八分）上膊一二センチ（三寸五分）前膊一三センチ（四寸三分）胸圍九一センチ（三尺）頭周圍五〔?〕センチ（一尺五寸八分）體重七貫であるが新京細菌檢査所で身体檢査を行つたところ內臟機關中心臟が普通人より大きく、肺線は反對に少くその他は大差がない身体檢査を終つた後黄君はニコニコしながら自分の兩親、妹は普通人である自分一人が小さく生れた、又家庭は農業をしてゐるが自分は農業に從事することが出來ず自家で鷄を飼つてみたが最近新京が非常に好況との話を聞きやつて來たが圖們の田舍とは總てが變つて見るものは皆珍らしい活氣漲ぎる國都建設狀況を視察したのち滿洲國官廳を訪れる考へですと、とても朗か（寫眞は黄君）

本格的な冬來りなば毛皮なつかし

本年の流行さ値段調べ

四溫日和が懷しいきのふけふは本格的な冬の訪れを物語つてゐる、街のショー、ウインドーに飾られた毛皮の襟卷と外套、防寒帽と防寒靴は北滿の冬の前奏曲だ、日本橋通りの秋林洋行に本年の毛皮の値段と流行をきけば何といつても毛皮の人氣者は狐とリスと海鼠ですと冒頭して語る

婦人もの

▲婦人の襟卷の王樣は銀狐で二百圓から八百圓、次が狐の五十圓から八十圓位で十八圓位のもあるとのこと

▲外套は上品で優しいリス製が最良で値段は二十五圓位から二千圓程度で、海鼠の頭をつかつた襟ものが二十五六圓、リスでも二百圓位のもので充分、アスタラカンも近頃流行してゐる

▲防寒外套は裏も襟も毛皮のもので六十圓から三百圓、極上の品で千圓程度、裏なしの既製品なれば十八圓位から四十五圓位、襟用毛皮は六圓から四十五圓、裏地毛皮はリスの繼ぎ合せもの卅五圓、一枚もの三百圓位カンガルーが四十圓から百二十圓、海鼠が四十五圓から二百五十圓、人氣者の鼬が五十圓から三百圓見當、このほか六圓程度のフゲイカ、十二圓から二十五圓位までのアザラシ、四、五十圓見當でアスタラカン、カワウソ等が喜ばれてゐる、

▲防寒帽は二圓から四十圓位までとアスタラカンが六圓五十錢から四十圓、カワウソが十八圓から四十五圓、オットセイが、四圓から二百圓、ビビリエッツが三圓から八圓程度

▲手袋が二圓五十錢から二十五圓位まで

▲防寒靴が八、九圓から二十五圓位

子供もの

四才から十五才位の子供用外套が八圓位から二十四、五圓、防寒帽一圓七、八十錢から二圓四五十錢程度

▲旅行用ボーランド毛布に十五圓から八十圓位のものがある、なほ同洋行では注文品の製作も行つてゐるが既製品と値段の點殆んど變らないとのことです

遺骨着京

二日午後三時二十五分ハルビンから清水上等兵の遺骨一体到着同四時南行

勇士の分骨着京

二日午前八時五十分着列車で忠靈塔に安置される勇士分骨三百八十体が到着

中銀その他の義捐金

丁公使から廣田外相へ

駐日丁滿洲國公使は今次の關西風水害に對する義捐金中央銀行の一萬圓、大興株式會社同社員の一千二百六十七圓六十錢合計一萬一千二百六十七圓六十錢を去る二十四日廣田外相の手を經て送附した旨入電があつた

廿錢の肉片から邦人列車コック殺人

【奉天國通】卅一日午後二時頃奉吉線列車が營盤驛で停車中日頃犬猿の中であつた同列車食堂コックが僅か一斤廿錢の牛肉の事から口論を始め德島縣生れ奉天葵町六七番地井住戸出德三郎（四九）は同僚たる神戸生れ奉天加茂町十五番地河井武（三六）を刃渡り一尺二寸餘の肉切り庖丁で左脇下より背部に突き刺して即死せしめた、原因は河井が自分が食べる爲地方滿人より肉一斤廿錢で購入したのを戸出が「不正肉だ、捨てろ」と云ひ懸りをつけたものである、同加害者は直ちに逮捕され奉天警察に殺人罪として送致された

普通學校の拜賀式

新京普通學校は三日午前十時から同校講堂で明治節拜賀式を擧行する

縣經理官講習開始

縣財政指導のため今回民政部で採用した經理官の日本內地採用者五十三名は既に各縣に配屬され夫々實際指導の任に當つてゐるが在滿者中の採用者卅四名は一日より十日間大同學院に於て縣財政指導に關する講習を受け中旬には各縣に配屬される事となつた此の在滿採用者の配屬で第一回の縣經理官の派遣を終るが經理官の充實に伴ひ縣財政の整備は相當期待されてゐる

白米の値下

福田商店精米部

富士町福田商店精米部では今回左記の如く白米の第三回値下げを行つた

白米各等一叺につき二十錢替△白米及胚芽米一袋につき十錢替

居住消息

▲瀧谷藤太郎氏（福井縣）日本橋通り十六番地阿川組へ
▲田熊義一氏（大阪府）同上へ
▲高橋亮氏（東京府）同上
▲有賀博氏（東京府）梅ヶ枝町一條アパート内
▲石川秀吉氏（東京府）吉野町一丁目二十五番地へ
▲中村七太郎氏（大連）から千島町一丁目十三番地へ

轉居

▲久米芳太郎氏吉野町から興安大路三百三十五號盛滿ビル十三號室へ
▲渡邊勇氏常盤町から崇智路五百十一號へ
▲佐久間正雄氏新京衞戍病院から梅ヶ枝町四丁目三十番地へ
▲藤井繁氏城後路から吉野町一丁目二十一番地ノ二へ
▲宮島彥一郎氏　花園町から公主嶺へ

女人婆羅門

（舞台上演　映画化）

長田秀雄

西正世志　畫

時の旋風（一）

「お前、斬髮頭になつちまつたら、國への土産になるぜ、せつかく東京見物にやつてきて、斬髮にもならねえばかりか、吉原にもあそびに行かねえとは、まつたく詰らない話だ」

「若旦那、私はもう暫らく舊式のまゝゐたうございます。文明開化にならなくとも、銀座の煉瓦地を鳴革の靴であるかなくとも、まだ何處かに殘つてゐる江戸の名殘りといつたものを味はつてみたうございます」

明治七年九月の秋はじめ、日本橋蠣殼町の旅店常盤の、上等室と銘打たれた一室に、もう二十日ほど泊りこんでゐるのは、愛知縣尾張國名古屋靈町邊に住ひする豪商夏目屋野中嘉四郎老人の長男野中芳二郎といふものと、手代藤藏の

二人だつた。

まだ、九月の東京は、熱々とする程ど暑かつた。

尾多縁とか圓太郎とか言はれた鐵道馬車は未だなかつたが、横濱の毛唐馬車から思ひついて始まつた異人乘合馬車といふものは、ガラゴロ／＼と運轉してゐた。

車ひく馬も汗かく
六月
雷神門へ
がらがらとくる。

と、謳はれたこの異人馬車は、新橋雷門間を走つたが、蠣殼町の、この常盤のある大通りの前もガラガラツと走つてゐた。

「なんと矢鱈しい異人馬車だの、あいつを聞くとめつきり暑さが殖えるの」

「まつたくあいつさへなきあ、この東京も落着いたところでございます」

「時に藤藏——お前は、もう風呂へ行つたか、一風呂浴びて汗を流し、そろ／＼根岸の寮へでも繰込みたいに出掛けて行かうぢやないか、滅法根津つて處は、仇情のないやうな世界だ、吉原なんかの冷酷い土地と比ると、こゝは極樂浄土だ」

手代の藤藏は、眉をしかめて、

「また若旦那、根津行でございますか、お止しなさいまし、弓八幡とかの雛袖花魁に首つたけのやうに見受けて居りますが、何と言つても此處は旅先、名古屋の地元みたいな氣持で、お氣持をゆるめなすつちや、此の手代、監督の手前閉口仕りまする。お止しなさいまし」

「と言ふが藤藏、商法の爲め東京見物を兼ねてるんだぜ、固より名古屋つ子だ。遊んだゞけの金は、必ず商法の掛引で儲けて、慰く言へば、如才のない掛引遊びだ」

「そんなことは自慢にも何にもなりません。そりや蠣殼町へも手を出して、隨分儲かんなすつたでせうが、油斷大敵と言ふ言の葉さへ」

「また意見立てか、ちよつ」

芳二郎は、いゝいと舌打ちをして、青疊の上に今年二十五の、遊び盛りの身體を、持てあましたやうにゴロリと横はつてしまつた。

暑熱を一層口立たせるかのやうにまた異人馬車がガラ／＼と轢らせて通つた。

芳二郎は、それを聞くともなしに聞きながら、煙草盆を傍への簞笥の中から取出して、それに大事さうに火をつけると、こゝろよくそれを喫つた。

ゆら／＼と紫煙が、夢のやうに上つてゆく。床の白百合と、掛軸の鶯籠りの繪が、紫煙のために、うす茫然とうすれるころ、上等室の部屋の襖が開いて、

「お客樣、名古屋から郵便狀がまゐりましてございます」

と、一人の女中が入つてきた。